

委員名簿

【委員】

神戸大学大学院工学研究科 教授 織田澤 利守

大阪公立大学大学院工学研究科 准教授 吉田 長裕

京都大学大学院地球環境学堂 准教授 山口 敬太

松井公認会計士事務所 公認会計士 松井 年志子

神戸中央法律事務所 弁護士 森 有美

【オブザーバー】

認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸 事務局長 飛田 敦子

一般社団法人自転車駐車場工業会（芝園開発株式会社 代表取締役） 宮本 薫

学生オブザーバー 3 名（神戸大学、大阪公立大学、京都大学）

日時：2025 年 11 月 25 日(火) 10:00～

場所：神戸市役所 1 号館 24 階 視察対応室（旧 1247 会議室）

市立自転車駐車場のあり方検討委員会

第 3 回委員会

< 次第 >

1. 開会

2. 議事

（１）第 2 回委員会での宿題返し

（２）答申の骨子案

・ 具体的な実施施策に関するこれまでの議論のまとめ《一部抜粋版》

（３）意見交換

3. 閉会

市立自転車駐車場のあり方検討委員会 (第3回)



今後の予定について ※全4回を想定

【第1回】 5/29

エリア特性に応じた課題共有、現状把握、
アンケート等調査内容の確認

【第2回】 8/27

調査の結果報告と方向性の検討

【第3回】 11/25 ※本日

今後の持続可能な駐輪場のあり方についての検討（答申骨子案）

【第4回】 2月頃（予定） ※変更

検討案のとりまとめ整理、答申内容を決定



本日の議題

- ・ 第2回委員会での宿題
 - ◆ 今後の収支見込みと運営方針
 - ◆ 課題に対する施策のマッピング（取組み施策）
- ・ 答申骨子（案）



第2回委員会での宿題

◆今後の収支見込みと運営方針



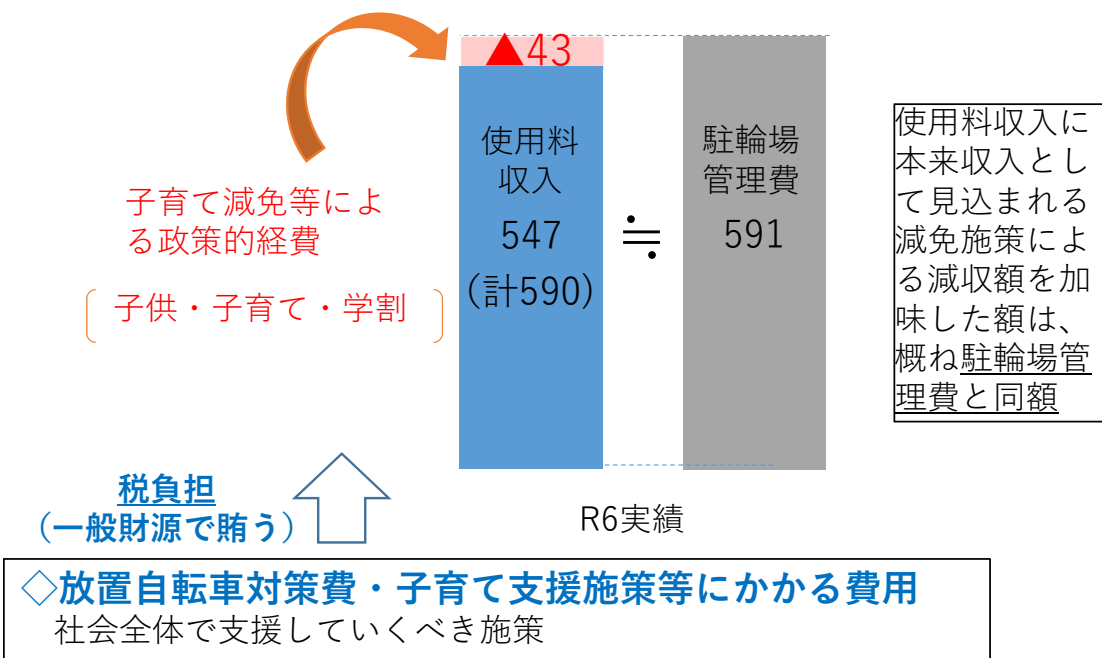
【今後の収支見込みと運営方針について】 ※R6年度決算額より算出

- ・政府目標である「2029(令和11)年までに最低賃金1,500円を達成する」シナリオで今後の賃金上昇を想定し、駐輪場運営の収支を予測 ※右図

→人件費の割合が大きな駐輪場管理費は賃金上昇率7.62%でR11年度には現在より232百万円増加の見込み

※R11年度：次期指定管理者との契約の中間年度となる予定

現在の使用料収入及び減免額と駐輪場管理費の関係

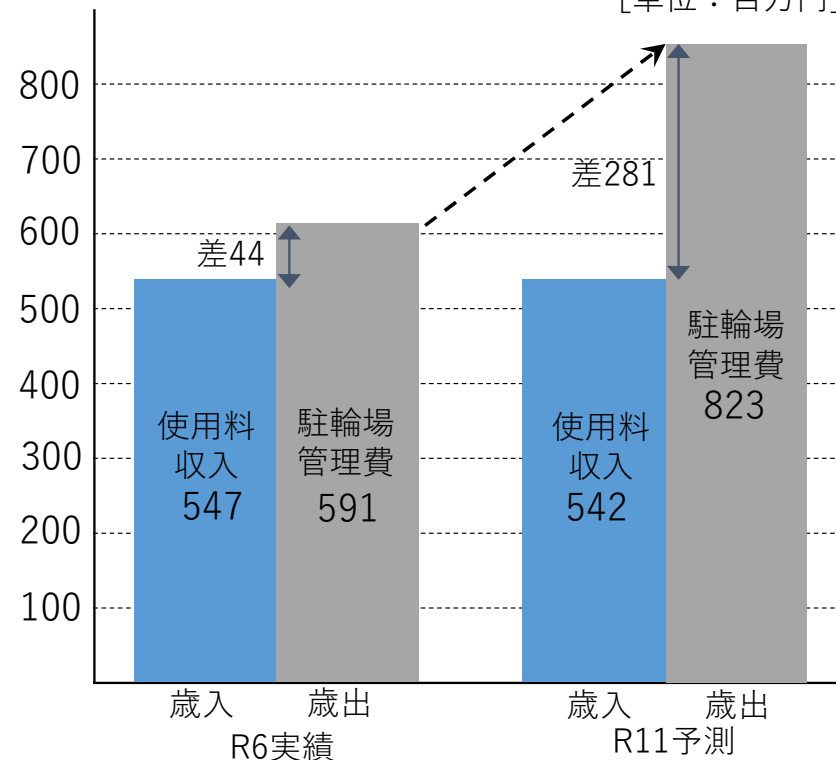


※別途駐輪場の整備・改修費等も税負担

【賃金上昇率7.62%】

2029年までに最低賃金1500円を達成する場合
※ R6年度実績との比較対象として、次期指定管理者との契約の中間年度となる予定であるR11年度を採用している。

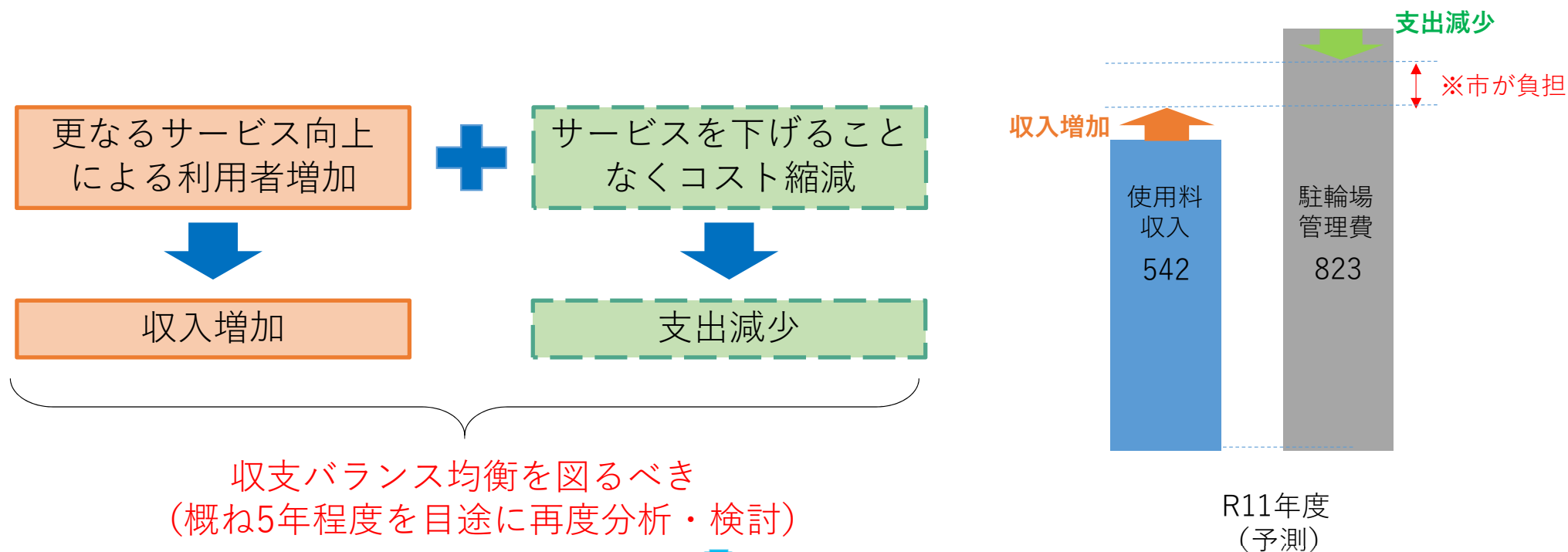
[単位：百万円]



※なお、R6年度の放置自転車対策費の実績は234百万円

《自転車利活用の必要性と収支の現状》

- 自転車利用は自動車等と比較してCO2を排出せず環境負荷が低い乗り物であるとともに健康増進にもつながる
- 自転車は都市交通の一翼を担っており、市民の日常生活に幅広く利用されている
- 現状は駐輪場管理費と使用料収入で収支均衡
※次年度以降の人件費等の動向は不明



〈指定管理者制度による運営方針について〉

指定管理者制度の違いによるメリット・デメリット	メリット	デメリット
使用料金制 (料金収受代行制度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者の収入リスクが極小化されるため、事業継続性が高まる。 ・ 市の料金施策が実施しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者による自主的な経営努力が期待できない。 ・ 指定管理者が工夫を行わない可能性がある。
利用料金制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料金収入が指定管理者に入ることから自主的な経営努力（より柔軟な料金設定）が期待できる。 ・ 市場動向に敏感な事業者によって、適切な料金水準を設定することができる。 ・ サービスの質の向上。 ・ 会計事務の簡素化が図られる。※市 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支が安定しないことから、事業の継続が難しくなる可能性がある。 ・ 市の料金施策が反映しづらい。

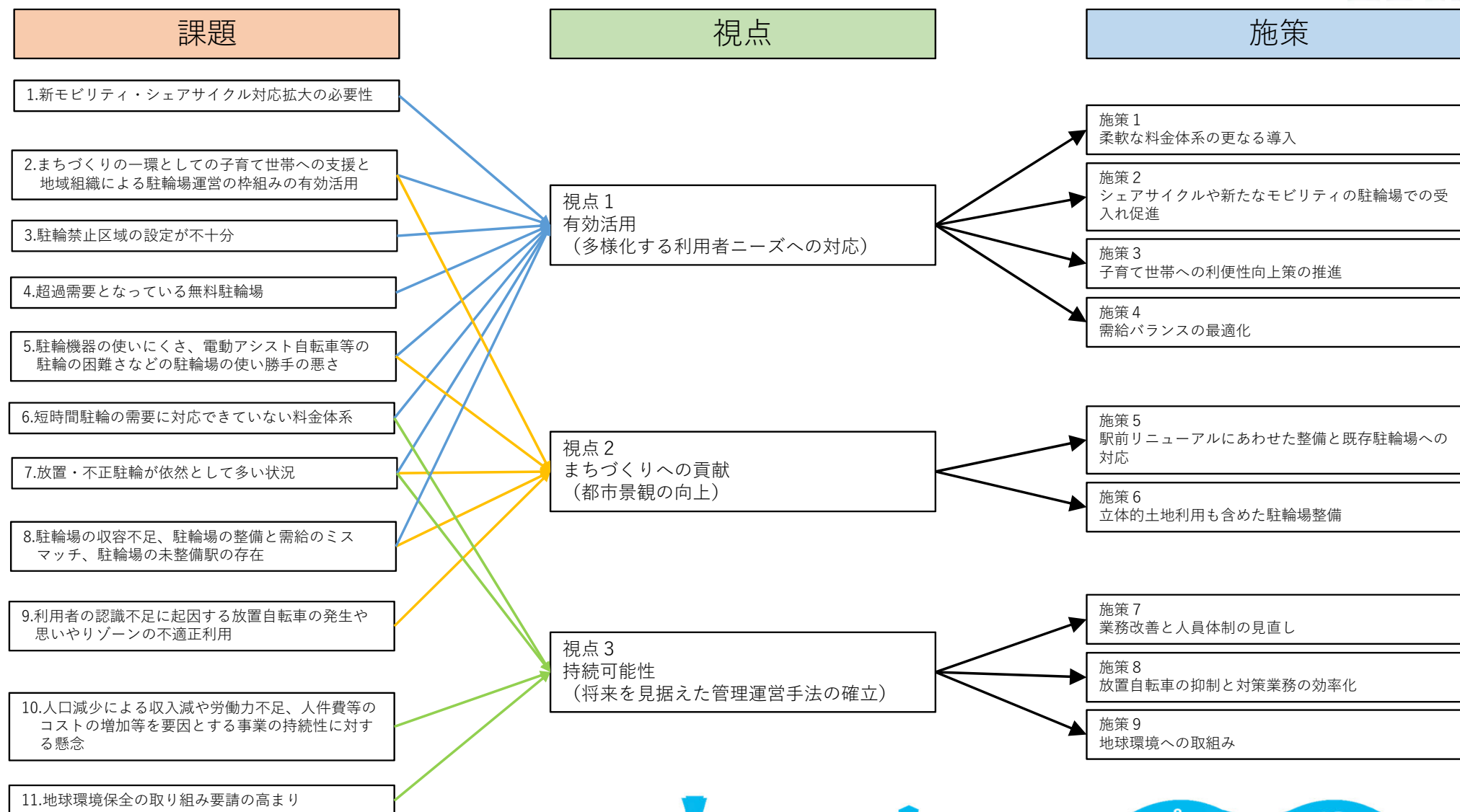
近年、想定以上の人件費の高騰等による影響が懸念されることから、当面は、現行の使用料金制による運営を継続することが望ましいと考えられる

第2回委員会での宿題

◆課題に対する施策のマッピング（取組み施策）



【課題に対する施策のマッピング】



答申骨子（案）について



答申骨子（案）

・はじめに

第1章 現状と課題

第2章 持続可能な自転車駐車場の基本的な考え方

○運営費増に対する収入増とコスト縮減をバランスさせることによる持続可能な運営

視点1 有効活用（多様化する利用者ニーズへの対応）

視点2 まちづくりへの貢献（都市景観の向上）

視点3 持続可能性（将来を見据えた管理運営手法の確立）

第3章 具体的な実施施策

[視点1 有効活用（多様化する利用者ニーズへの対応）]

施策1 柔軟な料金体系の更なる導入

- ・機械式駐輪器具等の導入
- ・満空表示機能の追加
- ・短時間利用無料化 など

施策2 シェアサイクルや新たなモビリティの駐輪場での受入れ促進

- ・駐輪場の更なる活用

施策3 子育て世帯への利便性向上策の推進

- ・子育て世帯減免制度等の継続、推進 など

施策4 需給バランスの最適化

- ・無人有料化
- ・放置禁止区域の拡大と有料駐輪場整備
- ・民間駐輪場との連携 など

[視点2 まちづくりへの貢献（都市景観の向上）]

施策5 駅前リニューアルにあわせた整備と既存駐輪場への対応

- ・ナッジ理論を活用した利用者へのマナー啓発
- ・新設時の景観配慮（デザイン）
- ・既存駐輪場への景観上の工夫
- ・地元との連携
- ・地域組織による運営の取組み支援 など

施策6 立体的土地利用も含めた駐輪場整備

- ・地下タワー式駐輪場の整備による駅前空間の創出 など

[視点3 持続可能性（将来を見据えた管理運営手法の確立）]

施策7 業務改善と人員体制の見直し

- ・機械式駐輪器具の導入効果を含む
- ・Webサービス・キャッシュレスの拡大 など

施策8 放置自転車の抑制と対策業務の効率化

- ・撤去保管料の見直し など

施策9 地球環境への取組み

- ・自転車利用そのものの効果に加え、太陽光発電 など

第4章 神戸の駐輪場の将来像

- ・まとめ



(参考)

BE KOBE

※「第3章 具体的な実施施策」 に関するこれまでの議論
《一部抜粋版》

施策 1 柔軟な料金体系の更なる導入

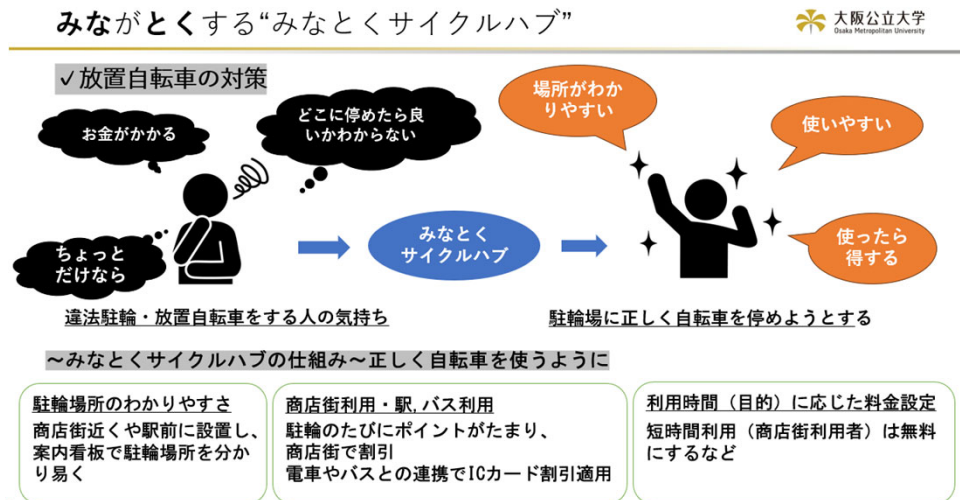


- 市営駐輪場への機械式駐輪器具等の導入。
 - ・一時利用の満空表示機能の追加など
- 柔軟な料金体系の導入により利用率向上を図り、利用しやすい駐輪環境を整える。
ステップアップ料金・駅からの距離等による料金設定



[機械式駐輪器具（電磁ロック式）]

- みながとくする“みなとくサイクルハブ”
利用時間（目的）に応じた料金設定
短時間利用（商店街利用者）は無料にするなど



施策2 シェアサイクルや新たなモビリティの
駐輪場での受入れ促進



➤ シェアサイクルポートの設置

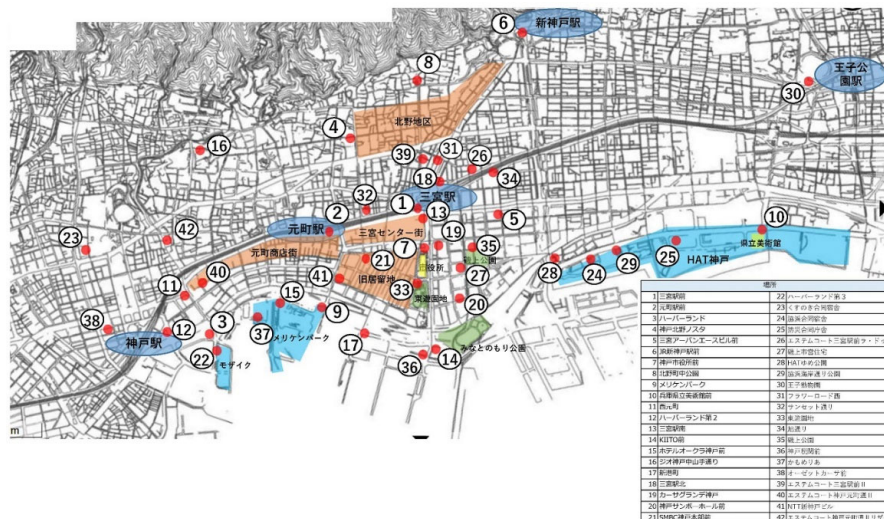
他都市調査において、約8割もの自治体で、一部の駐輪場に限られるもののシェアサイクルポートを公共駐輪場内に設置しているとの報告があった。
本市でも、特に収容台数に余裕がある駐輪場を中心に、シェアサイクルポートの設置について検討していくものとする。

シニアカーやシェアサイクルといったモビリティの受入れを推進し、市民に身近な公共施設を有効活用。

【三宮駅北ポート】



【コベリンのポート位置図】



【多様なモビリティの例】



施策 3 子育て世帯への利便性向上策の推進



➤ 子育て世帯への減免制度

●子育て世帯減免制度（平成30年8月～）

- ・未就学児をもつ子育て世帯の駐輪場使用料 半額
対象：未就学児と同居する保護者及び親族2名まで
- ・一部の駐輪場4か所で全額免除（令和6年4月～）
収容台数に余裕がある駐輪場（西神中央、鷹取、伊川谷、滝の茶屋）において、減額制度を拡充（半額→全額免除）

●親子おでかけサポート制度（令和6年4月～）

- ・土日祝日における駐輪場の一時利用料金（自転車のみ）を親子共に全額免除
対象：中学生以下の親子連れ

●子ども料金制度の設定（令和2年9月～）

- ・駐輪場使用料 半額制度
対象：小学生以下の子供
- ・一時・回数券・定期使用の全てに対して適用。

●大学生等への学割適用の拡大（令和2年9月～）

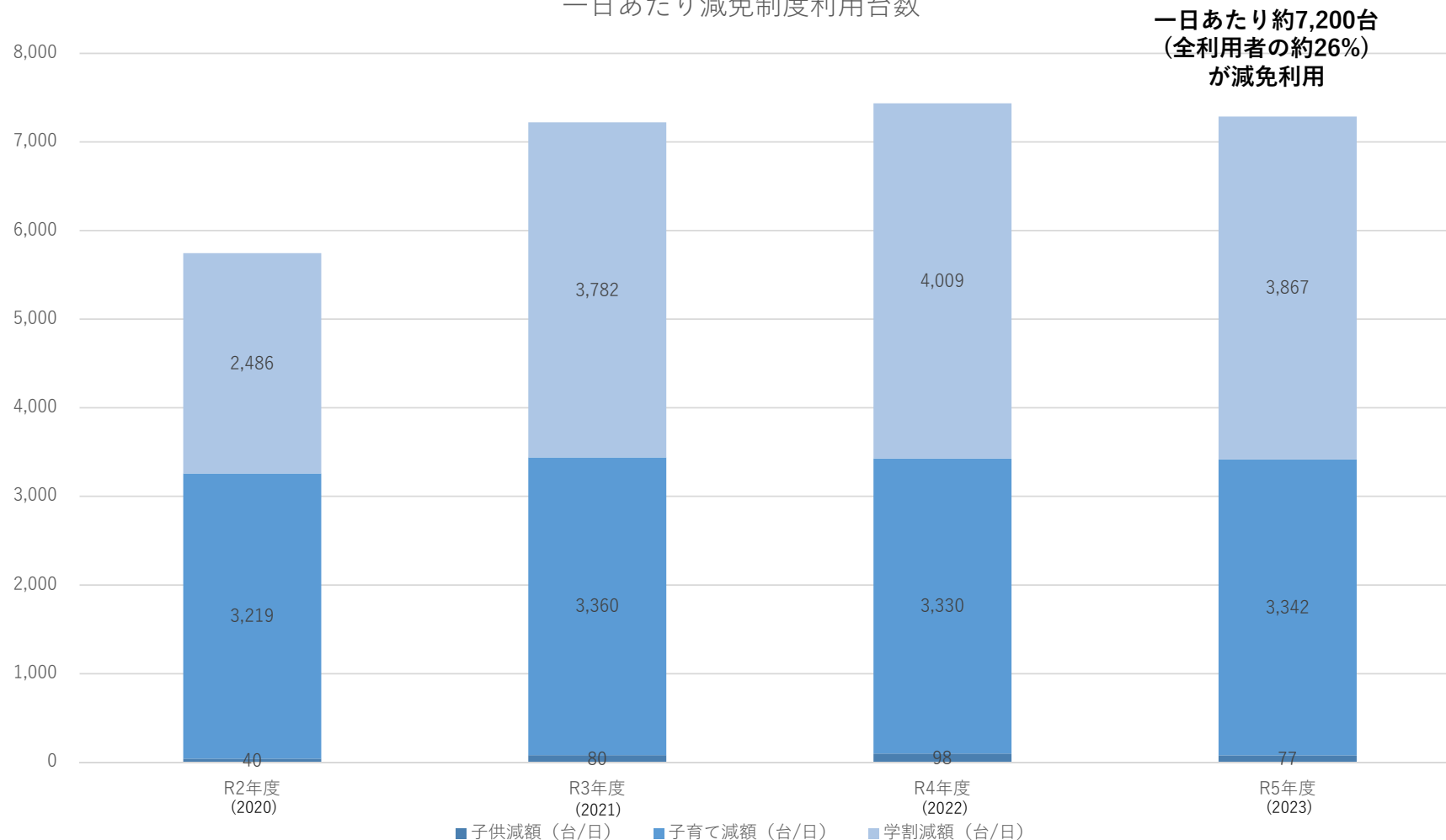
- ・自転車・原付の定期券 学割
対象：高校生・専門学校生等の18歳以下まで→大学生や19歳以上の学生にも拡大



子育て世帯への減免制度

[一日あたりの子育て世帯減免3制度の利用状況] (親子おでかけサポートを除く)

一日あたり減免制度利用台数



施策 4 需給バランスの最適化



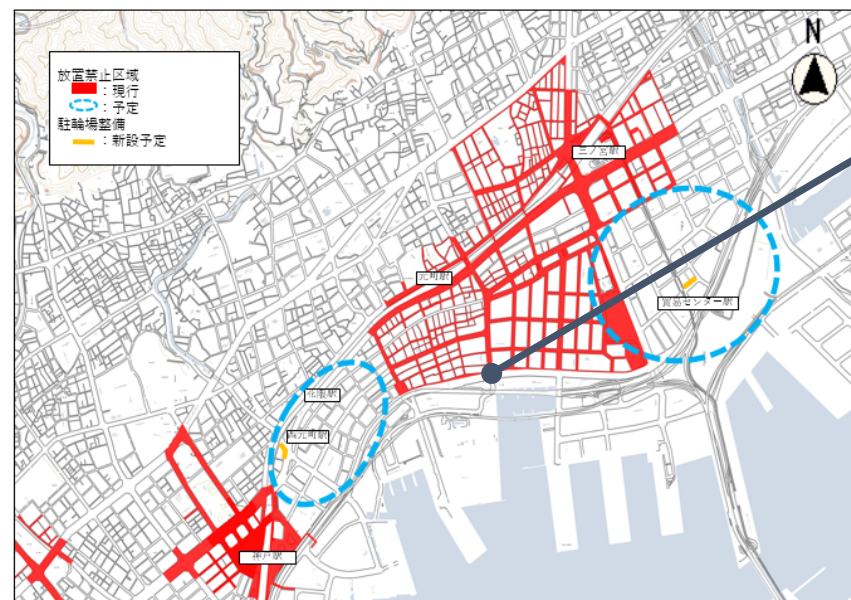
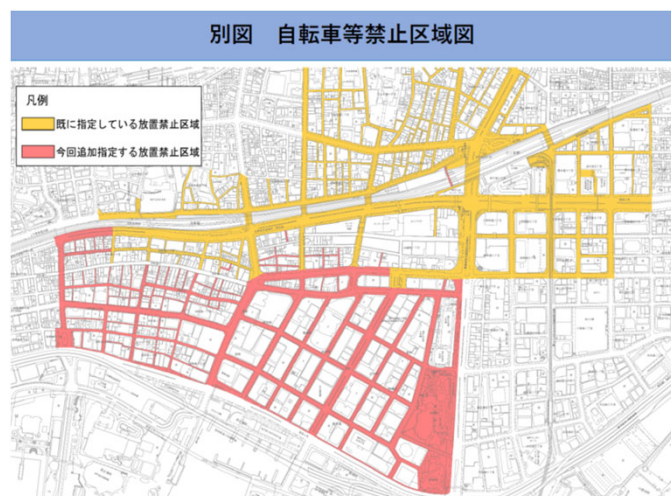
➤ 放置自転車禁止区域と放置自転車の関連性

- ・ 有料駐輪場がある駅周辺の一定範囲を禁止区域として定めている。（市内55カ所）
- ・ 特に三宮元町の都心部では駅周辺だけでなく、街中の路地や辺地での放置が多い。
民地や道路上の民設駐輪場整備を促進するとともに、令和3年度に禁止区域を追加指定。
- ・ 今後、花隈・西元町駅、貿易センター駅周辺において、駐輪場整備（市営or民設）、禁止区域の追加指定を予定。

令和3年度 禁止区域追加指定

今後の禁止区域追加指定（予定）

民設駐輪場の整備



- ・需要の非常に多い無料駐輪場では、適正な管理を必要とすることから有料化も含めた適正化の検討が必要。



大開駅前駐輪場 [無料駐輪場]



施策5 駅前リニューアルにあわせた整備と既存駐輪場への対応



▼JR 灘駅南側広場 駐輪場再整備後



▼デザインラックの設置 (JR摂津本山駅)



▼御堂筋と交差する千日前通の歩道上駐輪場の整備 (車線数削減し歩道拡幅) ⇒機械式駐輪器具の設置、目隠しフェンスの設置



■景観に配慮した自転車駐輪場

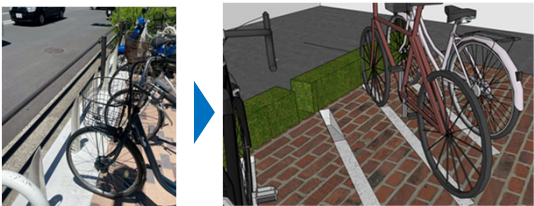


対象エリア



- B : デザインラックがあるが、うまく機能していない。
- C : 周辺で放置自転車多発。
有料駐輪場と駐輪禁止区域の見分けがつかない。
- D, E : 自転車が乱雑に並べられている。

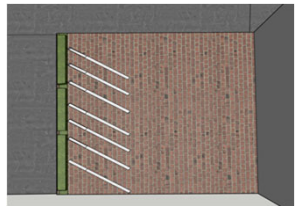
工夫①ラックを用いないスマートな駐輪



工夫②植栽による周辺景観の調和



工夫③車道に対して斜めの駐輪



■ナッジの活用



- デザインが目指す方向性
 - 違法駐輪をなくす
 - デザインラックをわかりやすく，利用してもらう
 - 例：花壇の絵，スコアゾーンなど
- 地域の小学生の協力
 - 小学生にもどのようなデザインにすれば違法駐輪が減るか，デザインラックを利用してもらえるかを考えてもらう
 - 小学生が学べるきっかけになる



社会的
持続
可能性

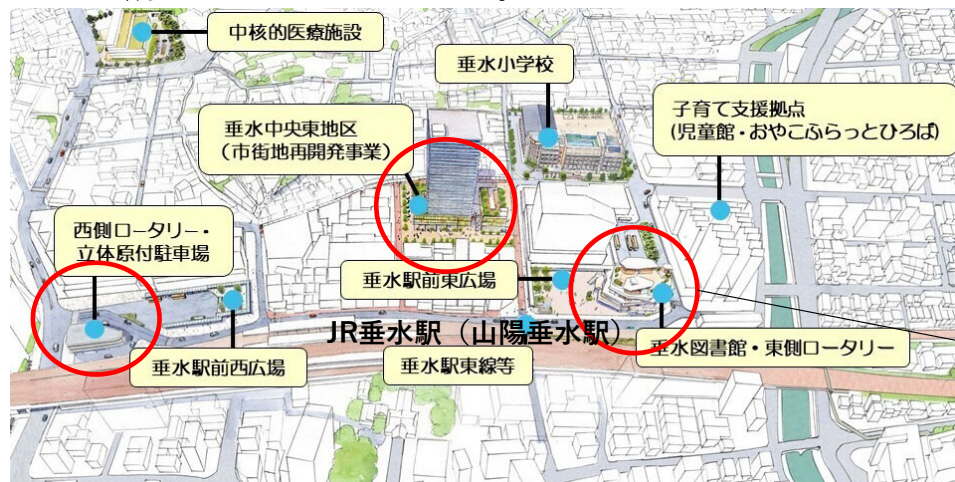
違法駐輪減少による
治安・安全性の確保

大阪市鶴見区役所 市民協働課市民協働グループ，JR放出駅周辺放置自転車防止啓発絵画路面シート，
<https://www.city.osaka.lg.jp/tsurumi/cmsfiles/contents/0000616/616347/DSCF3008.JPG>(最終閲覧日:2025/07/31)

第2回 P.11

➤ 駐輪場（あるいは駅）の優良事例 垂水駅

- ・土地がない駅前において大規模開発により屋内駐輪場等を整備した好事例。
- ・大規模な駐輪場等を確保したことで近傍の既存駐輪場に余裕を生み出し、おもいやりゾーン（幅広の駐輪スペース）の整備などにつなげている。



▼完成した垂水図書館外観



▼図書館地下の原付駐車場



地下1階：原付駐車場・駐輪場
1階：ロータリー
2階～4階：図書館

第1回 議事要旨P.4,5

➤ 神戸市独自の地域組織による指定管理者優先枠について

- ・神戸市では、A 枠 B 枠という独自の指定管理者の枠があり、複数駐輪場の管理ではなく1か所の駐輪場の指定管理者として参加できるという全国的にも珍しい特性がある。これにより地域活動の一環として地元のNPO法人等が駐輪場の指定管理業務を担い、障がい者やシニア人材が働きやすい環境を作り出せていると思う。駅前に必ず駐輪場があることで、街づくりの一環として障がい者雇用や認知症サポーターの配置により、認知症の方の対応など安心を提供できる側面もあると考えている。また、社会貢献的な取り組みを駐輪場に付加することで、駐輪場で働くこと自体が社会貢献となりシニアの方のモチベーションにつながるということも考えられる。

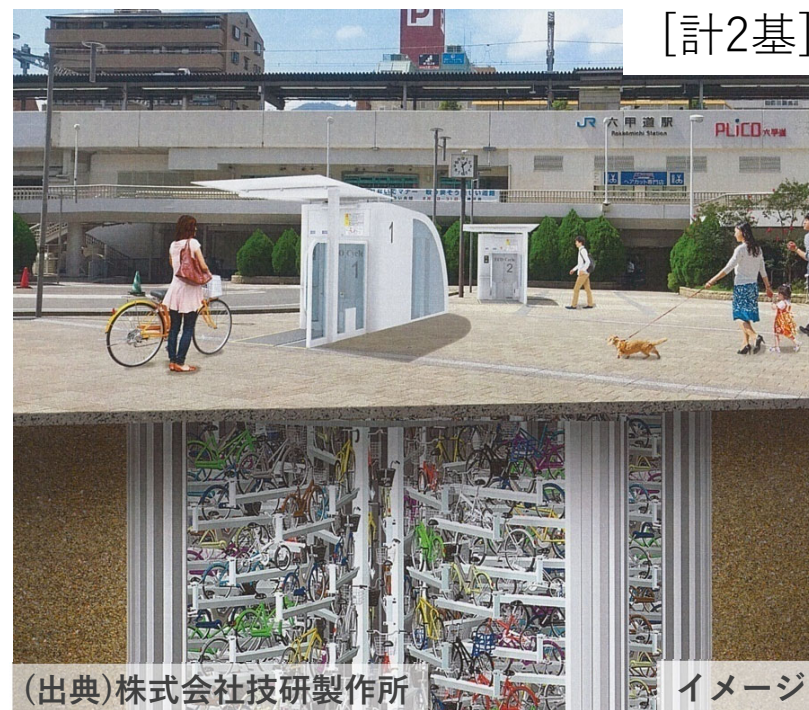
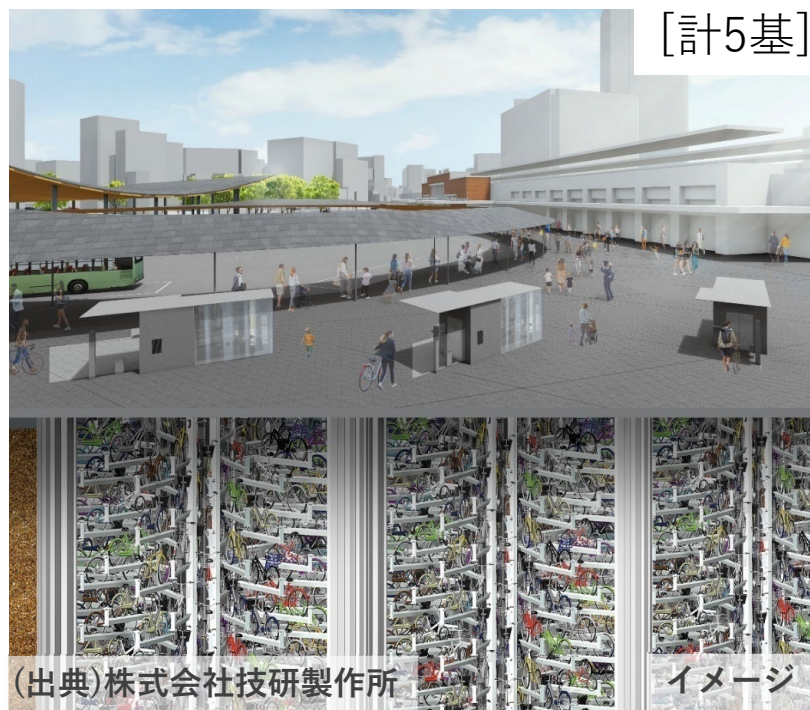
施策 6 立体的土地利用も含めた駐輪場整備



➤ 地下タワー式駐輪場の整備計画 ※全11基

JR神戸駅 | 2026年春 一部供用開始予定

JR六甲道駅



このほか、阪急王子公園駅[計2基]やJR兵庫駅[計2基]でも整備予定



施策 7 業務改善と人員体制の見直し



➤ 経費削減策_業務改善と人員体制の見直し（現在）

- ①無人無料化試行の恒久化 【H16～R7年度】
 - ・収容数が十分あり、無料化により利用者の増加に対応できる駐輪場において、自転車利用の促進と放置自転車の改善を目的に、平成16年より無人無料化を試行実施。
 - ・令和7年4月より8駅(山の街,木幡,栄,西舞子,田尾寺,岡場,西鈴蘭台,神鉄道場)で条例上の無料駐輪場に位置づけ。
- ②駐輪場WEBサービス導入（R5.8～）による省人化 【R6,7年度】
 - ・定期販売のWEBサービスに伴い、月末の定期臨時販売員が不要に。

	項目	H15.11	R5.11	施設運用
西鈴蘭台	利用率	19%	67%	1階のみ
	放置台数	29台	0台	2階閉鎖
神鉄道場	利用率	20%	40%	3階のみ
	放置台数	76台	0台	1,2階閉鎖

削減効果 (年)	定期臨時販売	無人無料化試行の恒久化 (西鈴蘭台、神鉄道場)
時間	約1,300時間	6時間/日×29日×12月＝2,088時間
金額	約9,700千円	約10,000千円



▲西鈴蘭台駐輪場
(Aブロック)

▶神鉄道場駐輪場
(Aブロック)



駐輪場WEBサービス
一時利用券の販売

➤ 経費削減策_業務改善と人員体制の見直し（将来）

③分室運営の見直し

1 駐輪場で管理事務所の分室がある場合、巡回整理への移行や券売機設置等により常駐の短縮・廃止

④昼夜窓口、休日の見直し

- ・ 1日3交代制で昼や夜の受付時間を無人化
- ・ 休日のみ昼夜受付時間を無人化

⑤複数配置、交代時間の見直し

⑥運営時間の見直し

- ・ 駐輪場の多くは営業24時間、受付時間6時30分～20時、3シフト制へ。
- ・ 一部の駐輪場では終電時間にあわせた閉場作業がある
 - ア) 閉場の必要がない駐輪場は受付終了を20時に見直し
 - イ) 閉場の必要がある駐輪場では警備方式変更等を検討
- * WEBサービス等を活用した販売セルフ化により省人化
回数券アプリの開始予定（R7.9）
- * 賃金上昇、労働時短など働き方の見直しにより、シルバー人材の雇用環境を改善

⑦機械式駐輪器具等の導入により、更なる省人化を検討する。



岡本駐輪場（分室）運営見直し

窓口営業時間 6:30～12:00

定期更新期間(20日～月末まで)のみ16:00～20:00も営業

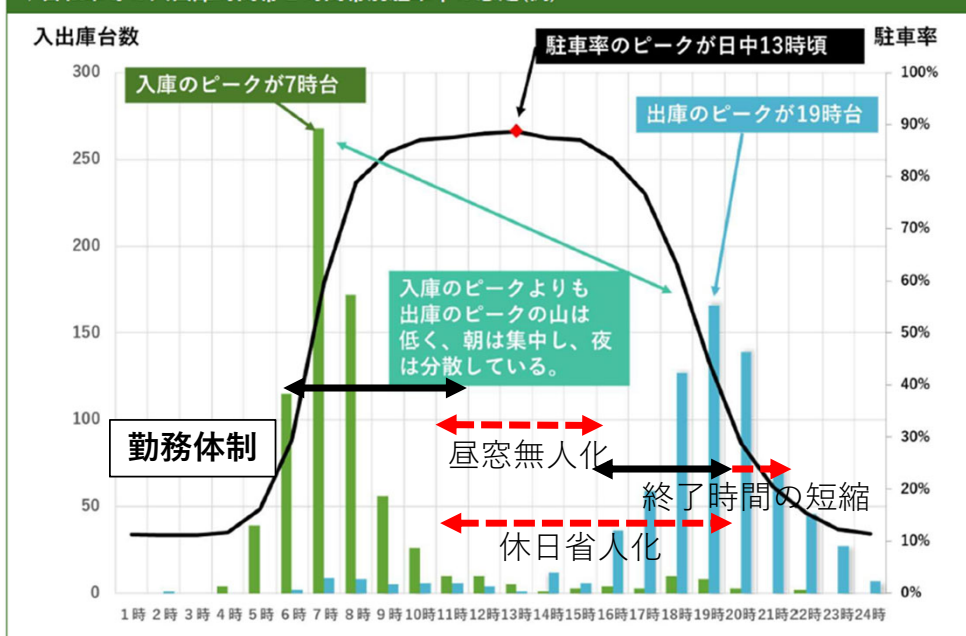
一時使用の方は、発券機をご利用願います。

上記時間以外は管理員不在の為御用の方は、大変ご迷惑をおかけいたしますが、営業時間内にお越しいただくか、
くがの駐輪場 ☎078-706-1439(～22時まで)へご相談願います。

更新期限を過ぎた方は、くがのでは更新手続きができませんので
お手数をおかけしますが、旭が丘営業時間内にお越し願います。

垂水（旭が丘）窓口時間見直し

▼自転車等の入出庫時間帯と時間帯別駐車率の想定(例)



人員配置の見直し（イメージ）

施策 8 放置自転車の抑制と対策業務の効率化



➤ 経費削減策_放置自転車対策（将来）

① 保管所の運営体制見直し（保管所数、開所日数・時間等の縮減）

- ・令和1～2年度に返還台数の少ない保管所の開所日数を見直し。
- ・今後、撤去保管台数の少ない保管所の統廃合、返還の予約制、駐輪場での一時保管など運営体制を見直し。

保管所	返還日時	撤去（台）	返還（台）
東灘区・魚崎浜	平日15～19時、土曜13～17時	850	382
灘区・稗田	平日15～19時、土曜13～17時	1,340	891
中央区・三宮	平日15～19時、土曜13～17時	3,318	2,519
兵庫区・湊町	平日15～19時、土曜13～17時	2,233	1,496
北区・北	<u>火・木15～19時、土曜13～17時*</u>	53	9
北区・岡場	<u>火・木15～19時、土曜13～17時*</u>	99	59
長田区・西部	平日15～19時、土曜13～17時	1,345	736
長田区・西代	平日15～19時、土曜13～17時	1,088	603
須磨区・須磨	<u>火・木15～19時、土曜13～17時*</u>	38	28
須磨区・名谷	<u>火・木15～19時、土曜13～17時*</u>	64	46
垂水区・垂水	平日15～19時、土曜13～17時	289	146
西区・学園都市	<u>火・木15～19時、土曜13～17時*</u>	39	17
西区・西神	<u>火・木15～19時、土曜13～17時*</u>	192	63

* 即時一斉撤去後の6日間は平日15～19時、土曜13～17時 ** 撤去返還台数は令和6年度実績

岡場保管所（北区）



学園都市保管所（西区）

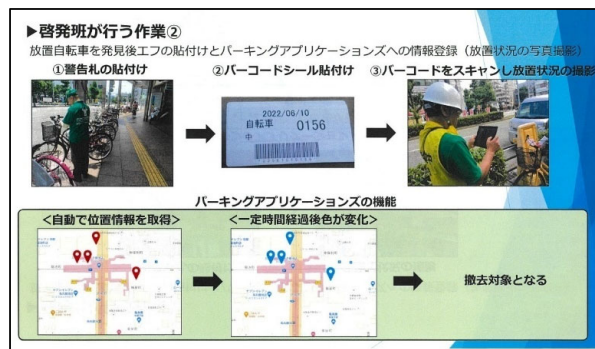


第2回 P.7,65

➤ 経費削減策_放置自転車対策（将来）

② 放置撤去業務の効率化（撤去業務支援システム）

- ・「放置自転車対策システム」 ※事業者所有
遠隔リアルタイムに撤去計画を市が認定することで、啓発・撤去業務を効率的・効果的に実施。
- ・「撤去自転車管理システム」 ※市所有(保管所のIT化)
保管所で撤去情報を入力。防犯照会システム（警察）と連携し、所有者に通知ハガキを作成。
- ・ 右記システムの連携により、業務効率化を実現する。



➤ 兵庫駅前駐輪場で実績がある電磁ロック式駐輪機を使用した撤去・一次保管の検討

- ・ 兵庫駅前駐輪場 放置自転車撤去保管の流れ（H29～）

（駅北側）
放置自転車
を撤去

（駅南側）
放置自転車
を撤去



保管料 1,000 円を支払い返還



撤去日
から
14日以上
経過



保管料 2,500 円を支払い返還

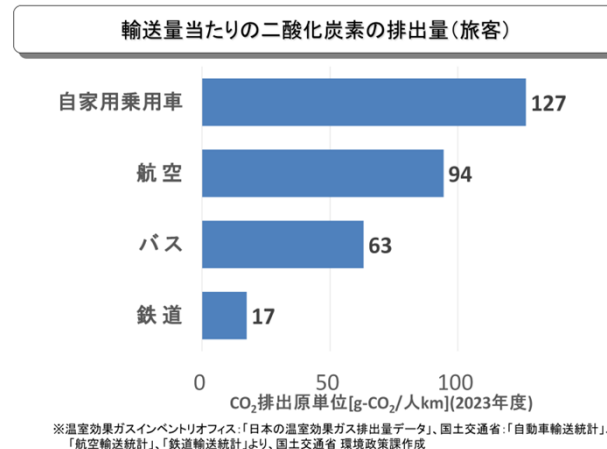
遠隔監視カメラで本人確認

施策 9 地球環境への取組み



➤ 通勤・通学・買い物など日常的な移動における自転車利用を更に推進

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向けては、自転車などの低炭素な交通手段への転換が重要
- 積極的に自転車の利用を選択できるよう、利用しやすい駐輪場の整備や運営方法を検討
- 日常的な移動に自転車を積極的に取り入れることで健康の維持・向上につながる
- 市民の運動習慣の定着や生活習慣病の予防など、心身の健康増進を図る取組の一環としての自転車利用の推進を検討



製造過程や人間の自転車運転のためのエネルギーを除外すると自転車のCO₂排出量は0

出典: 国土交通省 運輸部門における二酸化炭素排出量

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html



出典: 国土交通省 GOOD CYCLE JAPAN

<https://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/good-cycle-japan/about/>

HEALTH

サイクル健康

サイクルスポーツを通じて誰もが健康でいられる豊かな社会の実現を目指す

競技スポーツやレジャー、日常生活での利用も含め、生涯スポーツとして自転車を捉え、その普及を促めることによって、心身の健全な発達や、生きがいのある豊かな生活の実現、健康寿命の延伸を目指します。また、日常の身体活動量の増加・底上げを図ることで、生活習慣病や寝たきりの予防、QOL(暮らしの質)の向上も併せて図っていきます。さらに、サイクルスポーツの裾野を広げ、多くの人がサイクルスポーツを楽しめる機会をつくれます。

そのための施策は次のようなものです。

1 自転車専用道路の整備

2 国民の健康の保持増進

3 青少年の体力の向上

➤ 新技術の活用 ―駐輪場施設での発電の検討など―



ペロブスカイト太陽電池



ビルの壁面や耐荷重の小さい屋根などへの設置が可能な軽量で柔軟なフィルム型太陽電池

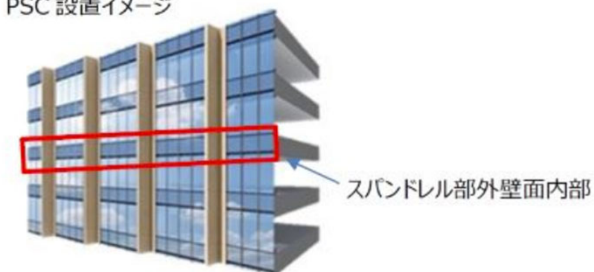
内幸町一丁目街区南地区第一種市街地再開発事業完成イメージ

再開発事業完成イメージ



フィルム型ペロブスカイト太陽電池 (PSC)

PSC 設置イメージ



本資料中のイメージパース等については計画段階のものであり、今後の行政指導等により、変更が生じる可能性があります。

出典：https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/perovskite_solar_cell_02.html

